



平成24年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成23年10月26日

上場会社名 エムスリー株式会社 上場取引所 東
 コード番号 2413 URL <http://corporate.m3.com/>
 代表者 (役職名) 代表取締役 (氏名) 谷村 格 (TEL) 03-5408-0800
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役 (氏名) 辻 高宏 配当支払開始予定日 —
 四半期報告書提出予定日 平成23年11月10日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年3月期第2四半期の連結業績（平成23年4月1日～平成23年9月30日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 四半期純利益 | |
|-------------|-------|------|-------|------|-------|------|--------|------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % |
| 24年3月期第2四半期 | 8,524 | 24.3 | 3,487 | 31.0 | 3,484 | 33.7 | 2,027 | 41.3 |
| 23年3月期第2四半期 | 6,858 | 36.3 | 2,662 | 29.5 | 2,605 | 27.8 | 1,434 | — |

(注) 包括利益 24年3月期第2四半期 1,912百万円 (47.8%) 23年3月期第2四半期 1,294百万円 (—%)

| | 1株当たり 四半期純利益 | 潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益 |
|-------------|-----------------|----------------------------|
| | 円 銭 | 円 銭 |
| 24年3月期第2四半期 | 3,862.46 | 3,820.51 |
| 23年3月期第2四半期 | 2,739.36 | 2,708.77 |

(2) 連結財政状態

| | 総資産 | 純資産 | 自己資本比率 |
|-------------|--------|--------|--------|
| | 百万円 | 百万円 | % |
| 24年3月期第2四半期 | 19,141 | 14,440 | 72.9 |
| 23年3月期 | 17,786 | 13,708 | 74.8 |

(参考) 自己資本 24年3月期第2四半期 13,960百万円 23年3月期 13,308百万円

2. 配当の状況

| | 年間配当金 | | | | |
|-------------|--------|--------|--------|----------|----------|
| | 第1四半期末 | 第2四半期末 | 第3四半期末 | 期末 | 合計 |
| | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 |
| 23年3月期 | — | 0.00 | — | 5,000.00 | 5,000.00 |
| 24年3月期 | — | 0.00 | — | — | — |
| 24年3月期 (予想) | — | — | — | — | — |

- (注) 1 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無
 2 現時点において、平成24年3月期の配当予想額は未定です。今後の資金需要動向とキャッシュ・フローの状況とを勘案し、株主配当の水準を決定する予定です。
 3 平成23年3月期の期末配当金の内訳：普通配当3,900円00銭、記念配当1,100円00銭

3. 平成24年3月期の連結業績予想（平成23年4月1日～平成24年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 当期純利益 | | 1株当たり 当期純利益 |
|-----|--------|------|-------|------|-------|------|-------|------|----------------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 円 銭 |
| 通 期 | 17,250 | 17.8 | 7,250 | 20.2 | 7,250 | 18.0 | 4,150 | 19.0 | 7,907.47 |

- (注) 1 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無
 2 1株当たり予想当期純利益については、株式分割考慮後の平成24年3月期第2四半期期中平均株式数524,820株に基づいて算出しています。

4. その他

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：有
新規 1社（社名）Doctors.net.uk Limited、除外 1社（社名）
（注）詳細は、添付資料P.4「2. サマリー情報（その他）」に関する事項（1）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動」をご覧ください。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：有
② ①以外の会計方針の変更：無
③ 会計上の見積りの変更：無
④ 修正再表示：無

（注）詳細は、添付資料P.4「2. サマリー情報（その他）」に関する事項（2）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数（普通株式）

| | | | | |
|---------------------|----------|----------|----------|----------|
| ① 期末発行済株式数（自己株式を含む） | 24年3月期2Q | 528,402株 | 23年3月期 | 524,040株 |
| ② 期末自己株式数 | 24年3月期2Q | 一株 | 23年3月期 | 一株 |
| ③ 期中平均株式数（四半期累計） | 24年3月期2Q | 524,820株 | 23年3月期2Q | 523,836株 |

（注）平成23年10月1日付で普通株式1株につき2株の株式分割を行っています。上記の株式数は、前連結会計年度の期首に株式分割が行われたと仮定して株式数を算出しています。

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する事項は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

なお、当社は、平成23年10月1日付で普通株式1株につき2株の株式分割を行っています。1株当たり予想当期純利益については、当該株式分割を考慮して算定しています。

（四半期決算補足説明資料の入手方法）

四半期決算補足説明資料は、平成23年10月26日（水）に当社ホームページに掲載いたします。

○添付資料の目次

| | |
|------------------------------------|----|
| 1. 当四半期決算に関する定性的情報 | 1 |
| (1) 連結経営成績に関する定性的情報 | 1 |
| (2) 連結財政状態に関する定性的情報 | 3 |
| (3) 連結業績予想に関する定性的情報 | 4 |
| 2. サマリー情報(その他)に関する事項 | 4 |
| (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 | 4 |
| (2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 | 4 |
| 3. 四半期連結財務諸表 | 5 |
| (1) 四半期連結貸借対照表 | 5 |
| (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 | 7 |
| 四半期連結損益計算書 | |
| 第2四半期連結累計期間 | 7 |
| 四半期連結包括利益計算書 | |
| 第2四半期連結累計期間 | 8 |
| (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書 | 9 |
| (4) 継続企業の前提に関する注記 | 10 |
| (5) セグメント情報等 | 10 |
| (6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 | 12 |
| (7) 連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更 | 12 |
| (8) 会計方針の変更等 | 12 |
| (9) 追加情報 | 12 |
| (10) 注記事項 | 13 |
| (11) 重要な後発事象 | 16 |

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当期においても医療従事者専門サイト「m3.com」の基盤強化を進め、医師会員は、当第2四半期連結累計期間において8千人増加の21.3万人に達しました。

既存サービスについては、顧客への各サービスの一層の浸透により、順調に推移しました。製薬会社向けのマーケティング支援サービスは、国内主要製薬会社のほぼ全社が既にご利用されている基本的な「提携企業」サービス、「m3.com」のプラットフォーム上で会員医師が主体的、継続的に高頻度で情報を受け取れる「MR君」サービス、会員医師に対してメールで直接アプローチする「m3MT」サービスと、意図や用途により選べるサービスメニューを提供しています。

また、会員医療従事者を対象とした調査サービス、会員へ医療情報以外のライフサポート情報を提供する「QOL君」などの一般企業向けマーケティング支援サービス、一般の方々からの健康や疾病に関する質問に「m3.com」登録医師が回答する「AskDoctors」(<http://www.AskDoctors.jp/>)、女性のための健康管理・美容促進サポートサイト「AskMoon女性の医学」(<http://askmn.jp/>)、最新の心理学をベースとした心の健康管理サイト「AskMind★ココロ日記」(<http://askmd.jp/>)、診療所の経営をサポートする「m3.com 開業・経営」等の新規サービスの拡充も進めています。

さらに、ITを活用した大規模臨床研究支援サービスを提供するメビックス株式会社(以下「メビックス」という)、医師、薬剤師向けの求人求職支援サービスを提供するエムスリーキャリア株式会社(以下「エムスリーキャリア」という)、クリニックの診療予約サービスを提供するアイチケット株式会社(以下「アイチケット」という)に加えて、平成23年4月には医療用医薬品に関する広告代理店であるリノ・メディカル株式会社(以下「リノ・メディカル」という)及び200以上の医療系学術団体が利用する会員制コミュニティサイト「学会研究会.jp」を運営する学会研究会.jp株式会社(以下「学会研究会.jp」という)の2社を、平成23年9月には首都圏を中心に治験実施医療機関において治験業務全般の管理・運営を支援する株式会社メディカル・パイロット(以下「メディカル・パイロット」という)を新たに連結子会社とする等、グループ会社も拡大しています。

一方海外においては、米国で、当第2四半期連結累計期間において、医療従事者向けウェブサイト「MDLinx」の医師会員が5.2万人増加の17.7万人に達し、「MR君」の米国版である「M3 Messages」等の製薬会社向けマーケティング支援サービスの展開が順調に進んでいます。また、平成23年8月に英国において18万人以上の医師会員を擁する医師向けウェブサイト「Doctors.net.uk」を運営するDoctors.net.uk Limited(以下「DNUK」という)を連結子会社とし、英国での製薬会社向けマーケティング支援サービスの展開を開始しました。さらに、日本、米国、欧州、中国及び韓国に跨る100万人の医師パネルを構築し、医療分野においてグローバルな調査サービスの提供を開始する等、調査サービスも拡大しています。

当第2四半期連結累計期間の業績は、以下のとおりです。

(当期の業績)

(単位：百万円)

| | 平成23年3月期 第2四半期累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日) | 平成24年3月期 第2四半期累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日) | 比較増減 | | (参考) 前連結会計年度 (自平成22年4月1日 至平成23年3月31日) |
|------------|--|--|--------|--------|--|
| | | | | | |
| 売上高 | 6,858 | 8,524 | +1,665 | +24.3% | 14,646 |
| 営業利益 | 2,662 | 3,487 | +825 | +31.0% | 6,031 |
| 経常利益 | 2,605 | 3,484 | +878 | +33.7% | 6,143 |
| 四半期(当期)純利益 | 1,434 | 2,027 | +592 | +41.3% | 3,486 |

(セグメントの業績)

(単位：百万円)

| | | 平成23年3月期 第2四半期累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日) | 平成24年3月期 第2四半期累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日) | 比較増減 | |
|------------------|----------|--|--|--------|---------|
| 医療 ポータル | セグメント売上高 | 5,173 | 6,331 | +1,157 | +22.4% |
| | セグメント利益 | 2,905 | 3,660 | +754 | +26.0% |
| エビデンス ソリューション | セグメント売上高 | 982 | 907 | △75 | △7.7% |
| | セグメント利益 | △48 | 144 | +193 | — |
| 海外 | セグメント売上高 | 704 | 1,104 | +400 | +56.9% |
| | セグメント利益 | 36 | 34 | △2 | △6.6% |
| その他 | セグメント売上高 | 141 | 305 | +163 | +115.7% |
| | セグメント利益 | 0 | △3 | △3 | — |
| 消去又は全社 | セグメント売上高 | (143) | (124) | — | — |
| | セグメント利益 | (288) | (351) | — | — |
| 合計 | 売上高 | 6,858 | 8,524 | +1,665 | +24.3% |
| | 経常利益 | 2,605 | 3,484 | +878 | +33.7% |

①医療ポータル

医療関連会社マーケティング支援分野の売上高は、3,791百万円（前年同期比15.7%増）となりました。eディテール（会員向けに配信したメッセージ）量が伸びたこと等により、「MR君」サービスの売上高が前年同期比19%増となった等、全体としては前年同期比15.7%の増収となりました。

調査分野の売上高は625百万円（前年同期比24.9%増）となりました。製薬会社の着実な需要増加と企画型調査の拡大等の要因により好調に推移しました。

その他分野の売上高は、1,914百万円（前年同期比37.3%増）となりました。エムスリーキャリアにおける医師、薬剤師向け人材紹介事業及び求人広告事業が好調に推移しました。

これらの結果、医療ポータルセグメントの売上高は、6,331百万円（前年同期比22.4%増）となりました。

売上原価と販売費及び一般管理費の総額は、エムスリーグループ業容拡大に伴う人件費増加及びサービス拡大に伴う会員向けポイント関連費用の増加、本社移転を決定したことによる減価償却費の増加等の要因により、2,671百万円（前年同期比20.0%増）となりました。

以上の結果、医療ポータルのセグメント利益は3,660百万円（前年同期比26.0%増）となりました。

②エビデンスソリューション

エビデンスソリューションセグメントにおいては、大型プロジェクトの進捗があったものの、一部既存の大規模臨床試験が計画通り終息に向かっていること等により、売上高は907百万円（前年同期比7.7%減）となりました。また、構造改革の進展によるコスト削減や、エムスリーとメビックスのシナジー効果が順調に拡大した他、一部の臨床試験の内容変更に伴う原価率の改善等により、セグメント利益144百万円（前年同期比193百万円改善）となりました。

③海外

米国子会社M3 USAにEMS Researchを加えた米英の売上高は、「M3 Messages」及び「MDLinx Clicks」等の製薬会社向けマーケティング支援サービスの拡大とEMS Researchが新たに連結子会社に加わったことにより、1,034百万円（前年同期比61.2%増）となりました。韓国においても順調に事業が推移した結果、為替変動のマイナスの影響（119百万円）を吸収し、海外セグメントの売上高は1,104百万円（前年同期比56.9%増）となりました。

また、米国事業においては、業容拡大等のための費用の増加を増収により吸収し増益となったものの、前第4四半期連結会計期間より連結業績に加わったEMS Researchとドイツ子会社MedQuarter Onlineの損失等により、海外セグメントの利益は34百万円（前年同期比6.6%減）となりました。なお、MedQuarter Onlineについては、事業展開のペースが設立当初の想定を下回る状況が続き、早期の黒字化の見通しが立たないため、平成23年8月をもって業務を停止しました。

④その他

その他セグメントの売上高は、アイチケットのサービス拡大の他、リノ・メディカル及び学会研究会jpを新たに連結子会社としたこと等により、売上高は305百万円(前年同期比115.7%増)となりました。また、新たに連結子会社となった学会研究会jpの事業立ち上げに伴う損失等により、セグメント損失は3百万円(前年同期比3百万円悪化)となりました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間における当社グループの売上高は8,524百万円(前年同期比24.3%増)、営業利益は3,487百万円(前年同期比31.0%増)、経常利益は3,484百万円(前年同期比33.7%増)、四半期純利益は2,027百万円(前年同期比41.3%増)となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

(資産、負債及び純資産の状況)

資産合計は、前連結会計年度末比1,355百万円増の19,141百万円となりました。DNUK株式の取得等により、現金及び預金が2,393百万円減少したことを主な要因に、流動資産は前連結会計年度末比1,584百万円減の11,726百万円となりました。また、DNUK、学会研究会jp及びメディカル・パイロットの新規連結によるのれんの計上等により無形固定資産が2,538百万円増加したことを主な要因に、固定資産は2,939百万円増の7,414百万円となりました。

負債合計は、前連結会計年度末比623百万円増の4,701百万円となりました。業容拡大に伴いポイント引当金が178百万円増加したこと等により、流動負債は652百万円増の4,315百万円となりました。

純資産合計は、前連結会計年度末比732百万円増の14,440百万円となりました。剰余金配当1,310百万円を行った一方、四半期純利益2,027百万円を計上したことにより利益剰余金が716百万円増加したことが主な要因です。

(キャッシュ・フローの状況)

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物の残高は、前連結会計年度末残高より2,317百万円減少し、7,076百万円となりました。

営業活動によるキャッシュ・フローは、2,125百万円の収入(前年同期比1,164百万円の収入増)となりました。収入の主な内訳は、税金等調整前四半期純利益3,515百万円であり、支出の主な内訳は、法人税等の支払額1,446百万円です。

投資活動によるキャッシュ・フローは、DNUK、学会研究会jp及びメディカル・パイロットへの出資に伴う連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出2,584百万円等により、3,027百万円の支出(前年同期比2,203百万円の支出増)となりました。

財務活動によるキャッシュ・フローは、配当金の支払等により、1,382百万円の支出(前年同期比446百万円の支出増)となりました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

当社グループの当期業績については、増収増益となることを見込んでいます。

①医療ポータルセグメント

医療関連会社マーケティング支援分野については、引き続き「MR君」サービスの利用量の増加を中心とした継続的な拡大を見込んでいます。

調査分野は、製薬会社を中心とした着実な需要を背景に、調査サービスが堅調に推移すると見込んでいます。

その他分野においては、エムスリーキャリアの成長を中心に、各サービスの拡大を見込んでいます。

費用については、一層の成長に向けた積極的な人員増等を計画していますが、既存サービスに直接関連する費用に関しては構造的な変化は見込んでいません。

以上の結果、医療ポータルセグメントは、増収増益を見込んでいます。

②エビデンスソリューションセグメント

エビデンスソリューションセグメントについては、大型プロジェクトの本格展開と構造改革の進展によるコスト削減効果により、増収増益を見込んでいます。

③海外セグメント

海外セグメントについては、米国において「M3 Messages」、「MDLinx Clicks」等のマーケティング支援サービスや調査サービス等が拡大するとともに、英国事業も増収に寄与する見込みです。

費用については、「M3 Messages」、「MDLinx Clicks」等のマーケティング支援サービス拡大のための費用の発生を、引き続き見込んでいます。

以上の結果、海外セグメントは、増収増益を見込んでいます。

④その他セグメント

その他セグメントについては、アイチケットのサービス拡大等により増収増益を見込んでいます。

これらを踏まえ、平成24年3月期の業績見通しを、以下のとおりとしております。

(単位 百万円)

| | 平成23年3月期 実績 | 平成24年3月期 業績予想 | 差異 |
|-------|----------------|------------------|--------|
| 売上高 | 14,646 | 17,250 | +2,604 |
| 営業利益 | 6,031 | 7,250 | +1,219 |
| 経常利益 | 6,143 | 7,250 | +1,107 |
| 当期純利益 | 3,486 | 4,150 | +664 |

※ 上記業績予想につきましては、本資料の作成日現在において入手可能な情報に基づいて算定しております。今後の経済状況等の変化により、実際の業績は異なる結果となる可能性があります。

2. サマリー情報（その他）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

当第2四半期連結累計期間より、Doctors.net.uk Limited については、新たに株式を取得したことから、連結の範囲に含めています。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

詳細は、「3. 四半期連結財務諸表 (8) 会計方針の変更等」をご参照ください。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位:千円)

| | 前連結会計年度 (平成23年3月31日) | 当第2四半期連結会計期間 (平成23年9月30日) |
|-------------|-------------------------|------------------------------|
| 資産の部 | | |
| 流動資産 | | |
| 現金及び預金 | 9,824,149 | 7,430,158 |
| 受取手形及び売掛金 | 2,581,603 | 3,203,251 |
| 商品 | 3,168 | 3,488 |
| 仕掛品 | 186,220 | 152,685 |
| その他 | 747,996 | 982,881 |
| 貸倒引当金 | △32,045 | △46,084 |
| 流動資産合計 | 13,311,092 | 11,726,379 |
| 固定資産 | | |
| 有形固定資産 | 145,496 | 152,095 |
| 無形固定資産 | | |
| のれん | 1,614,577 | 4,213,666 |
| その他 | 883,326 | 822,864 |
| 無形固定資産合計 | 2,497,904 | 5,036,531 |
| 投資その他の資産 | | |
| 投資有価証券 | 1,247,797 | 1,390,709 |
| その他 | 720,571 | 951,072 |
| 貸倒引当金 | △136,734 | △115,458 |
| 投資その他の資産合計 | 1,831,634 | 2,226,324 |
| 固定資産合計 | 4,475,035 | 7,414,951 |
| 資産合計 | 17,786,127 | 19,141,330 |
| 負債の部 | | |
| 流動負債 | | |
| 買掛金 | 539,453 | 523,851 |
| 未払法人税等 | 1,490,053 | 1,600,609 |
| ポイント引当金 | 495,000 | 673,674 |
| その他の引当金 | 134,407 | 131,308 |
| その他 | 1,003,667 | 1,386,088 |
| 流動負債合計 | 3,662,582 | 4,315,532 |
| 固定負債 | | |
| 退職給付引当金 | 10,954 | 9,052 |
| 繰延税金負債 | 57,665 | 54,578 |
| その他 | 346,800 | 321,960 |
| 固定負債合計 | 415,419 | 385,591 |
| 負債合計 | 4,078,002 | 4,701,123 |

(単位:千円)

| | 前連結会計年度 (平成23年3月31日) | 当第2四半期連結会計期間 (平成23年9月30日) |
|---------------|-------------------------|------------------------------|
| 純資産の部 | | |
| 株主資本 | | |
| 資本金 | 1,197,787 | 1,266,492 |
| 資本剰余金 | 1,426,182 | 1,494,885 |
| 利益剰余金 | 10,620,003 | 11,336,998 |
| 株主資本合計 | 13,243,974 | 14,098,376 |
| その他の包括利益累計額 | | |
| その他有価証券評価差額金 | 129,332 | 128,413 |
| 為替換算調整勘定 | △65,160 | △265,970 |
| その他の包括利益累計額合計 | 64,171 | △137,556 |
| 新株予約権 | 62,483 | 75,674 |
| 少数株主持分 | 337,495 | 403,711 |
| 純資産合計 | 13,708,125 | 14,440,206 |
| 負債純資産合計 | 17,786,127 | 19,141,330 |

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位:千円)

| | 前第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日) | 当第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日) |
|--------------------|---|---|
| 売上高 | 6,858,348 | 8,524,240 |
| 売上原価 | 1,929,696 | 2,151,914 |
| 売上総利益 | 4,928,651 | 6,372,326 |
| 販売費及び一般管理費 | ※1 2,265,866 | ※1 2,884,401 |
| 営業利益 | 2,662,784 | 3,487,925 |
| 営業外収益 | | |
| 条件付取得対価に係る公正価値の変動益 | — | 23,419 |
| 貸倒引当金戻入額 | — | 21,276 |
| その他 | 14,694 | 28,505 |
| 営業外収益合計 | 14,694 | 73,201 |
| 営業外費用 | | |
| 為替差損 | 58,710 | 73,176 |
| その他 | 13,047 | 3,464 |
| 営業外費用合計 | 71,757 | 76,641 |
| 経常利益 | 2,605,720 | 3,484,485 |
| 特別利益 | | |
| 持分法による投資利益 | 59,629 | — |
| 負ののれん発生益 | — | 35,012 |
| その他 | 5,787 | 116 |
| 特別利益合計 | 65,417 | 35,128 |
| 特別損失 | | |
| 貸倒引当金繰入額 | 113,112 | — |
| 子会社清算損 | — | 3,907 |
| その他 | 20,386 | — |
| 特別損失合計 | 133,498 | 3,907 |
| 税金等調整前四半期純利益 | 2,537,639 | 3,515,706 |
| 法人税、住民税及び事業税 | 1,080,864 | 1,524,272 |
| 法人税等調整額 | 15,053 | △151,180 |
| 法人税等合計 | 1,095,917 | 1,373,091 |
| 少数株主損益調整前四半期純利益 | 1,441,721 | 2,142,615 |
| 少数株主利益 | 6,749 | 115,519 |
| 四半期純利益 | 1,434,972 | 2,027,095 |

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位:千円)

| | 前第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日) | 当第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日) |
|------------------|---|---|
| 少数株主損益調整前四半期純利益 | 1,441,721 | 2,142,615 |
| その他の包括利益 | | |
| その他有価証券評価差額金 | △111,029 | △823 |
| 為替換算調整勘定 | △39,131 | △228,663 |
| 持分法適用会社に対する持分相当額 | 2,440 | △307 |
| その他の包括利益合計 | △147,720 | △229,794 |
| 四半期包括利益 | 1,294,001 | 1,912,820 |
| (内訳) | | |
| 親会社株主に係る四半期包括利益 | 1,308,331 | 1,825,366 |
| 少数株主に係る四半期包括利益 | △14,329 | 87,453 |

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

| | 前第2四半期連結累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年9月30日) | 当第2四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日) |
|--------------------------------|---|---|
| 営業活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 税金等調整前四半期純利益 | 2,537,639 | 3,515,706 |
| 減価償却費 | 81,643 | 127,665 |
| のれん償却額 | 103,933 | 109,517 |
| 負ののれん発生益 | — | △35,012 |
| 条件付取得対価に係る公正価値の変動損益(△は益) | — | △23,419 |
| 貸倒引当金の増減額(△は減少) | 110,372 | △10,298 |
| ポイント引当金の増減額(△は減少) | 84,601 | 179,186 |
| 退職給付引当金の増減額(△は減少) | 1,532 | △10,158 |
| その他の引当金の増減額(△は減少) | 20,891 | △2,493 |
| 受取利息及び受取配当金 | △13,400 | △12,926 |
| 為替差損益(△は益) | 58,710 | 73,176 |
| 持分法による投資損益(△は益) | △53,664 | △5,967 |
| 売上債権の増減額(△は増加) | △86,312 | △444,935 |
| たな卸資産の増減額(△は増加) | △33,571 | 26,662 |
| その他の流動資産の増減額(△は増加) | 43,530 | △48,749 |
| 仕入債務の増減額(△は減少) | △112,088 | △81,204 |
| 未払費用の増減額(△は減少) | △66,121 | 133,097 |
| 前受金の増減額(△は減少) | △336,028 | △15,204 |
| その他の流動負債の増減額(△は減少) | △61,895 | △26,798 |
| その他 | 17,688 | 89,656 |
| 小計 | 2,297,463 | 3,537,499 |
| 利息及び配当金の受取額 | 15,520 | 33,681 |
| 法人税等の支払額 | △1,352,733 | △1,446,170 |
| 営業活動によるキャッシュ・フロー | 960,250 | 2,125,010 |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 定期預金の預入による支出 | △106,530 | △4,827 |
| 定期預金の払戻による収入 | 50,000 | 50,000 |
| 有形固定資産の取得による支出 | △51,670 | △54,481 |
| 無形固定資産の取得による支出 | △80,586 | △57,721 |
| 敷金及び保証金の差入による支出 | △253,905 | △237,099 |
| 敷金及び保証金の回収による収入 | 2,313 | — |
| 投資有価証券の取得による支出 | △352,220 | △192,032 |
| 連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出 | — | △2,584,387 |
| 連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による収入 | — | 52,993 |
| 貸付けによる支出 | △31,584 | — |
| その他 | 474 | △37 |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー | △823,709 | △3,027,592 |
| 財務活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 短期借入金の返済による支出 | — | △100,654 |
| 長期借入金の返済による支出 | — | △79,838 |
| 株式の発行による収入 | 12,674 | 126,075 |
| 配当金の支払額 | △938,570 | △1,307,542 |
| 少数株主への配当金の支払額 | △10,773 | △20,948 |
| 財務活動によるキャッシュ・フロー | △936,670 | △1,382,907 |
| 現金及び現金同等物に係る換算差額 | △26,164 | △31,725 |
| 現金及び現金同等物の増減額(△は減少) | △826,292 | △2,317,214 |
| 現金及び現金同等物の期首残高 | 8,502,188 | 9,393,831 |
| 連結の範囲の変更に伴う現金及び現金同等物の増減額(△は減少) | △59,164 | — |
| 現金及び現金同等物の四半期末残高 | ※1 7,616,731 | ※1 7,076,617 |

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報等

I 前第2四半期連結累計期間（自平成22年4月1日至平成22年9月30日）

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：千円）

| | 報告セグメント | | | | その他 (注) | 合計 |
|------------------------|-----------|------------------|---------|-----------|------------|-----------|
| | 医療ポータル | エビデンス ソリューション | 海外 | 計 | | |
| 売上高 | | | | | | |
| 外部顧客への売上高 | 5,030,600 | 982,535 | 704,072 | 6,717,208 | 141,140 | 6,858,348 |
| セグメント間の内部売上高 または振替高 | 143,001 | — | — | 143,001 | 426 | 143,427 |
| 計 | 5,173,601 | 982,535 | 704,072 | 6,860,209 | 141,566 | 7,001,775 |
| セグメント利益（△損失） | 2,905,983 | △48,325 | 36,412 | 2,894,070 | 125 | 2,894,196 |

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、医療機関向け各種情報提供サービス事業等を含んでいます。

2 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容（差異調整に関する事項）

| 利益 | 金額（単位：千円） |
|-----------------|-----------|
| 報告セグメント計 | 2,894,070 |
| 「その他」の区分の利益 | 125 |
| セグメント間取引消去 | △19,303 |
| 全社費用（注） | △269,172 |
| 四半期連結損益計算書の経常利益 | 2,605,720 |

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない当社の管理部門にかかる費用です。

3 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第2四半期連結累計期間(自平成23年4月1日至平成23年9月30日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

| | 報告セグメント | | | | その他 (注) | 合計 |
|------------------------|-----------|------------------|-----------|-----------|------------|-----------|
| | 医療ポータル | エビデンス ソリューション | 海外 | 計 | | |
| 売上高 | | | | | | |
| 外部顧客への売上高 | 6,208,589 | 907,082 | 1,103,466 | 8,219,139 | 305,101 | 8,524,240 |
| セグメント間の内部売上高 または振替高 | 122,937 | — | 1,077 | 124,014 | 217 | 124,231 |
| 計 | 6,331,527 | 907,082 | 1,104,543 | 8,343,153 | 305,318 | 8,648,472 |
| セグメント利益(△損失) | 3,660,774 | 144,925 | 34,014 | 3,839,714 | △3,753 | 3,835,961 |

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、医療機関向け各種情報提供サービス事業及び医療用医薬品に関する広告代理店事業等を含んでいます。

2 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

| 利益 | 金額(単位:千円) |
|-----------------|-----------|
| 報告セグメント計 | 3,839,714 |
| 「その他」の区分の利益 | △3,753 |
| セグメント間取引消去 | 10,951 |
| 全社費用(注) | △362,427 |
| 四半期連結損益計算書の経常利益 | 3,484,485 |

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない当社グループの管理及び投資活動にかかる費用です。

3 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

海外セグメントにおいて、新たにDoctors.net.uk Limitedの株式を取得し連結の範囲に含めたことから、当第2四半期連結累計期間においてのれんが2,478,733千円増加しています。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

(7) 連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更

| |
|---|
| 当第2四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日) |
| (1) 連結の範囲の重要な変更 第1四半期連結会計期間より、リノ・メディカル株式会社及び学会研究会jp株式会社については、新たに株式を取得したことから、連結の範囲に含めています。 また、当第2四半期連結会計期間より、Doctors.net.uk Limited及び株式会社メディカル・パイロットについては、新たに株式を取得したことから、連結の範囲に含めています。 |
| (2) 持分法適用の範囲の重要な変更 当第2四半期連結会計期間より、株式会社エー・アイ・ピーについては、新たに株式を取得したことから、持分法適用の範囲に含めています。 |

(8) 会計方針の変更等

| |
|--|
| 当第2四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日) |
| (会計方針の変更) 1株当たり当期純利益に関する会計基準等の適用 第1四半期連結会計期間より、「1株当たり当期純利益に関する会計基準」（企業会計基準第2号 平成22年6月30日）、「1株当たり当期純利益に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第4号 平成22年6月30日公表分）及び「1株当たり当期純利益に関する実務上の取扱い」（実務対応報告第9号 平成22年6月30日）を適用しています。 この適用により、平成23年10月1日付で行った株式分割は、前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定し、1株当たり四半期純利益及び潜在株式調整後1株当たり四半期純利益を算定しています。 なお、これによる影響については、「1株当たり情報」に記載しています。 |

(9) 追加情報

| |
|---|
| 当第2四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日) |
| (会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準等の適用) 第1四半期連結会計期間の期首以後に行われる会計上の変更及び過去の誤謬の訂正より、「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準」（企業会計基準第24号 平成21年12月4日）及び「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第24号 平成21年12月4日）を適用しています。 |

(10)注記事項

(四半期連結損益計算書関係)

※1 販売費及び一般管理費のうち主要な費目及び金額は次のとおりです。

| | 前第2四半期連結累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年9月30日) | 当第2四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日) |
|------------|---|---|
| | (千円) | (千円) |
| 報酬・給与 | 642,538 | 786,745 |
| 販売促進費 | 434,781 | 459,030 |
| 賞与引当金繰入額 | 45,132 | 63,807 |
| ポイント引当金繰入額 | 84,710 | 180,225 |

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

※1 現金及び現金同等物の四半期末残高と四半期連結貸借対照表に掲記されている科目の金額との関係は下記のとおりです。

| | 前第2四半期連結累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年9月30日) | 当第2四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日) |
|---------------|---|---|
| | (千円) | (千円) |
| 現金及び預金勘定 | 7,925,796 | 7,430,158 |
| 預入期間3ヶ月超の定期預金 | △309,065 | △251,735 |
| 拘束性預金 | — | △101,805 |
| 現金及び現金同等物 | 7,616,731 | 7,076,617 |

(株主資本等関係)

I 前第2四半期連結累計期間(自 平成22年4月1日 至 平成22年9月30日)

配当金支払額

| (決議) | 株式の種類 | 配当金の総額 (千円) | 1株当たり 配当額(円) | 基準日 | 効力発生日 | 配当の原資 |
|--------------------|-------|----------------|-----------------|------------|-----------|-------|
| 平成22年4月27日 取締役会 | 普通株式 | 942,235 | 3,600 | 平成22年3月31日 | 平成22年6月7日 | 利益剰余金 |

II 当第2四半期連結累計期間(自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)

配当金支払額

| (決議) | 株式の種類 | 配当金の総額 (千円) | 1株当たり 配当額(円) | 基準日 | 効力発生日 | 配当の原資 |
|--------------------|-------|----------------|-----------------|------------|-----------|-------|
| 平成23年4月25日 取締役会 | 普通株式 | 1,310,100 | 5,000 | 平成23年3月31日 | 平成23年6月6日 | 利益剰余金 |

（1株当たり情報）

1株当たり四半期純利益金額及び算定上の基礎、潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額及び算定上の基礎は、以下のとおりです。

| | 前第2四半期連結累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年9月30日) | 当第2四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日) |
|---|---|---|
| (1) 1株当たり四半期純利益金額 | 2,739.36円 | 3,862.46円 |
| (算定上の基礎) | | |
| 四半期純利益金額(千円) | 1,434,972 | 2,027,095 |
| 普通株主に帰属しない金額(千円) | — | — |
| 普通株式に係る四半期純利益金額(千円) | 1,434,972 | 2,027,095 |
| 普通株式の期中平均株式数(株) | 523,836 | 524,820 |
| (2) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額 | 2,708.77円 | 3,820.51円 |
| (算定上の基礎) | | |
| 四半期純利益調整額(千円) | — | — |
| 普通株式増加数(株) | 5,916 | 5,762 |
| 希薄化効果を有しないため、潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額の算定に含めなかった潜在株式で、前連結会計年度末から重要な変動があったものの概要 | — | — |

(注) 当社は、平成23年10月1日付で株式1株につき2株の株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して1株当たり四半期純利益金額及び潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額を算定しています。

(会計方針の変更)

第1四半期連結会計期間より、「1株当たり当期純利益に関する会計基準」(企業会計基準第2号 平成22年6月30日)、「1株当たり当期純利益に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第4号 平成22年6月30日公表分)及び「1株当たり当期純利益に関する実務上の取扱い」(実務対応報告第9号 平成22年6月30日)を適用しています。この適用により、平成23年10月1日付で行った株式分割は、前連結会計年度の期首に行われたと仮定して1株当たり四半期純利益及び潜在株式調整後1株当たり四半期純利益を算定しています。

これらの会計基準等を適用しなかった場合の、前第2四半期連結累計期間の1株当たり四半期純利益及び潜在株式調整後1株当たり四半期純利益は、以下のとおりです。

| | |
|----------------------|-----------|
| 1株当たり四半期純利益金額 | 5,478.71円 |
| 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額 | 5,416.07円 |

(11) 重要な後発事象

当第2四半期連結会計期間(自 平成23年7月1日 至 平成23年9月30日)

平成23年7月26日開催の取締役会の決議により、次のとおり株式分割による新株式を発行しています。

1 株式分割の目的

投資単位当たりの金額の引下げ及び株式の流動性向上により、より投資しやすい環境を整え、投資家層の拡大を図ることを目的としております。

2 株式分割の概要

(1) 分割の方法

平成23年9月30日最終の株主名簿に記載または記録された株主が所有する当社普通株式1株につき2株の割合をもって分割しました。

(2) 分割により増加する株式数

| | |
|-----------------------|------------|
| ①平成23年9月30日現在の発行済株式総数 | 264,201株 |
| ②今回の分割により増加する株式数 | 264,201株 |
| ③株式分割後の発行済株式総数 | 528,402株 |
| ④株式分割後の発行可能株式総数 | 1,920,000株 |

3 株式分割の日程

平成23年9月30日を基準日とし、平成23年10月1日を効力発生日としております。

4 1株当たり情報に及ぼす影響

1株当たり情報に及ぼす影響については、「1株当たり情報」に記載しています。